

安井委員（自民議連）

令和4年3月11日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）佐伯高等学校における学びの成果の他の地域への展開について

小規模校間で学校活性化に向けた先進事例や優良事例などのノウハウを蓄積・共有すれば、さらに効果が高く、充実した各校の取り組みが期待できる。

そこで、学校活性化地域協議会が設置された学校間において、成果や課題の横展開をどのように行っているのか、また、今後どのように取り組んでいくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

1学年1学級規模校につきましては、学校関係者や地域の代表者等で構成する「学校活性化地域協議会」を設置し、生徒数の増加や学校の活性化に向けた取組を進めております。

その中で、成果が出ている取組や優良事例を学校間で共有することは大変効果的であると考えており、これまで、

- ・ 事務局職員による定期的な学校訪問の際における優良事例の紹介や、
- ・ 1学年1学級規模校による情報交換会の開催

などの取組を実施しているところでございます。

また、佐伯高等学校の特色ある部活動をはじめ、魅力ある活動の情報発信や県内外の中学校への積極的な訪問などにつきましては、他校でも参考になると考えており、今後は、こうした取組を情報交換会などで共有するとともに、各学校の取組を教育委員会のホームページに掲載するなど、学校の実情等を踏まえて、しっかりと支援してまいりたいと考えております。